

モーションユニット

事例紹介

vol.13

生産現場の省力化や自動化をより効率的に行う手法として、GFを用いたモーションシステムをご提案しています。コネクタや可動パーツなど標準パーツとモジュールによって構成した、汎用性の高いユニットシステムをご紹介します。

ライン間搬送の省力化に

レベルリフターユニット

一定位置でのワーク積み降ろしが可能で作業者の負担を減らします。

コンテナサイズ：369mm×282mm×124mm(外寸)
ワーク重量めやす：5kg/箱 総重量15kgまで
※ワーク重量めやすは仕様によって異なります。

リフターユニット

引っ張りバネが伸び縮みする力を利用して高さを調整しています。上からワークを取っても、常に同じ高さで作業ができます。



＜＜ 動画で動きをご覧
いただけます ＞＞

<https://fa.sus.co.jp/products/gf/case/case1/other/media/movie08.mp4>



主なモジュールと構成パーツは裏面に掲載 >>



1 コンテナをテーブルに載せます。
テーブルが一定量下降し、コンテナ上端は初期のテーブル位置とほぼ同じ高さとなります。



2 2つ目のコンテナを積み重ねます。
再びテーブルが一定量下降しますが、コンテナ上端の高さは、ほぼ変わりません。



3 続けてコンテナを積み重ねても、コンテナ上端の高さはほぼ変わりません。
コンテナを降ろしていく場合も同様です。

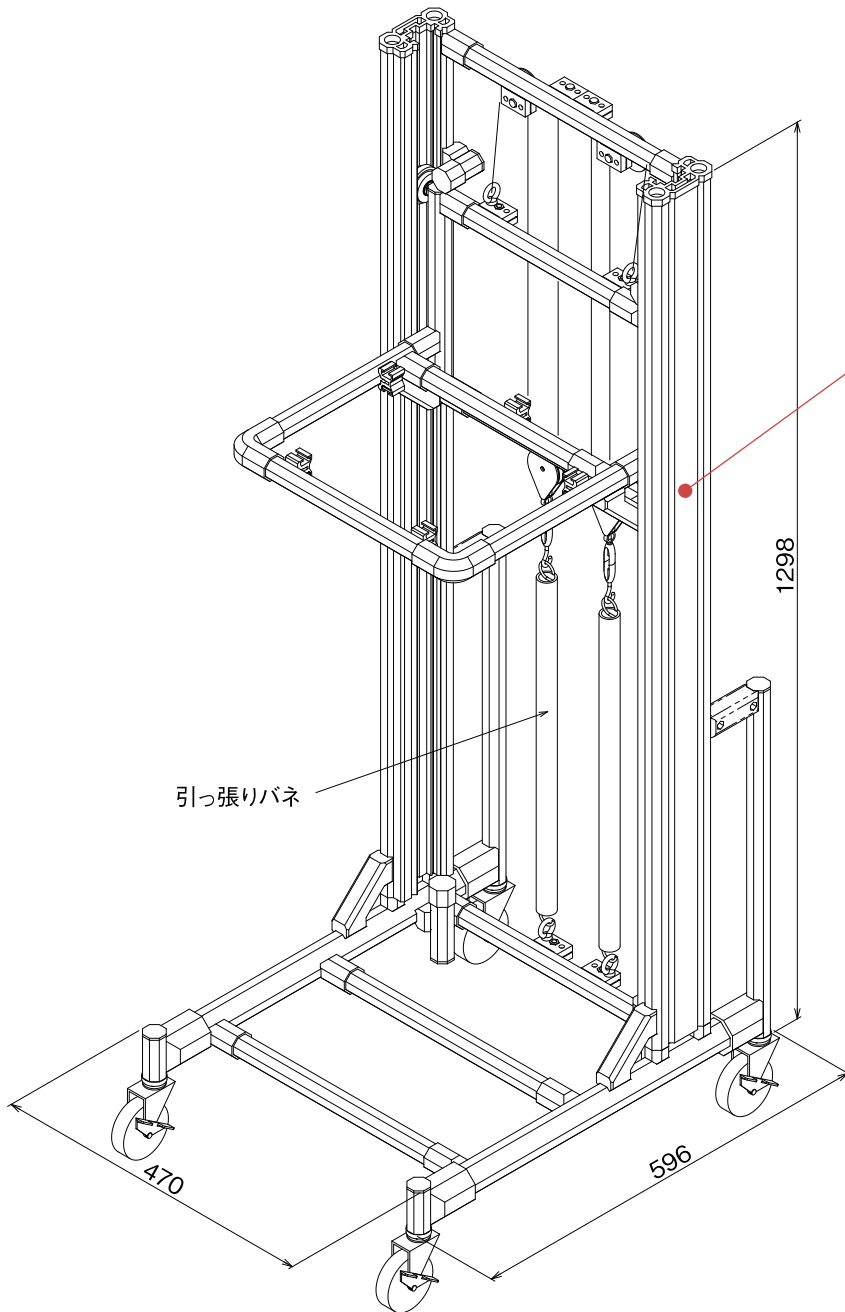
主なモジュールと構成パーツ

昇降ガイド(ローラーガイドフレーム)

フレーム一式

その他コネクタ関連一式

※引っ張りバネはワークサイズ・重量によって変わります。



昇降ガイド (ローラーガイドフレーム)

各種可動レールとして汎用性の高いモジュールです。



《 詳しくはこちらから

https://fa.sus.co.jp/service/catalog/GF202_434.pdf

電動ウインチを用いたレベルリフター

電動レベルリフター

テーブルの上下動作に電動ウインチを利用し、SiOコントローラで制御することで、一定位置でのワーク積み降ろしを可能にしました。上端・下端の高さやワークの有無はセンサーで判別します。ウエイトやバネとのバランスでは調整が難しいワークでも希望の位置に保つことができます。



《 動画で動きをご覧
いただけます

<https://fa.sus.co.jp/products/gf/case/case05/media/levellifter.mp4>

製品についてのお問合せ

担当セールスキャスター

までお問合せください。